

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部						
3 -	交通の利便性を高める		福祉部、まちづくり政策部、土木部					
所管事業に関連する成果指標								
指標名	単位	実績値					5 年度 目標値	
		改訂計画 策定時	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度		
路線バスの乗り継ぎ環境の整備進捗率	%	47	65	67	67	72	88	
幹線道路のボトルネック交差点の改良進捗率	%	17	17	22	41	41	80	

関連事業				
○住民主体地域内移送推進事業○バス利用促進事業○南北都市軸への新しい公共交通導入事業○幹線道路整備事業○街路整備事業				
決算額				
	2年度	3年度	4年度	5年度
事業費（千円）	50,663	266,146	114,752	348,750
執行率（％）	70.29	93.71	96.44	96.47

施策の推進に向けた主な取組の「成果」
・サイクル&バスライドについて、関係機関と調整を進め、大神地区の柳の内バス停付近に駐輪設備を開設しました。また、南北都市軸への新しい公共交通導入においては、新たなバス路線（平塚駅北口～ツインシティ大神～本厚木駅南口）が設けられるとともに、既存のバス路線の中にもツインシティ大神バス停で停車する便が新設されました。 ・歩道設置や交差点改良の工事などを継続して進めたことで、交通の円滑化と歩行者の安全性の向上を図りました。 ・地域住民による地域内での移送支援の取組を支援し、高齢者や障がい者などの自力での移動が困難な方の外出機会の拡大を図り、新たに旭南地区において本格運行が開始されました。

施策を推進する上での「主な課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（ ）」
・路線バスなどの公共交通を利用しやすい環境を整備するとともに、交通空白地域や交通不便地域の解消に向けて、公共交通を維持する必要があります。 バス停の待合環境やサイクル&バスライドの整備について、バス事業者と連携して取り組むとともに、持続可能な公共交通と地域の特性に合わせた移動手段を確保します。また、ツインシティ大神地区における今後のまちづくりの進捗に合わせ、需要に応じた連節バスの導入や公共交通優先信号の設置について、バス事業者、道路管理者及び交通管理者と協議します。

- ・幹線道路や周辺道路などの交通混雑の緩和や住環境の向上を図る必要があります。
幹線道路の交差点や歩道の整備に向けた用地買収や物件移転補償などを計画的に進め、交通の円滑化を図るとともに、歩行者の安全を確保します。
- ・市内で公共交通が利用しにくい地域において、地域住民による移送支援の取組を更に促進する必要があります。
地域での取組を引き続き支援していくとともに、地域共生社会の実現に向けて、地域での支え合いの重要性を広く周知啓発し、地域福祉の充実を図ります。